

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年5月1日～2023年8月31日)



(内田電工事務所)

内田電工株式会社

発行日：2023年9月20日

目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲認証・登録範囲	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 8
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 9

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

内田電工株式会社
代表取締役 内田 知洋

(2) 所在地

本 社 兵庫県三田市駅前町19番14号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役部長
環境管理担当者 総務担当
連絡先 TEL : 079-563-2384
FAX : 079-563-6323

(4) 事業の概要

電気工事業

(5) 事業規模

年間売上高 1億2700万円（2021年9月～2022年8月）

	本社
総従業員 2023.9.1現在	5人
延べ床面積	56m ²
敷地面積	608m ²

(6) 建設現場等の概要 (2021年9月～2022年8月)

元請工事 63件
下請工事 102件

(7) 会計年度 9月～翌年8月

2. 主な環境負荷の実績

項目	単位	全社排出量		
		2022年度		
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	9,765		
廃棄物排出量	トン	83.4		
一般廃棄物	トン	0.1		
産業廃棄物	トン	83.3		

使用した電力の二酸化炭素排出係数：0.351 kg-CO₂/kWh (関西電力、2020年度の調整後排出係数)

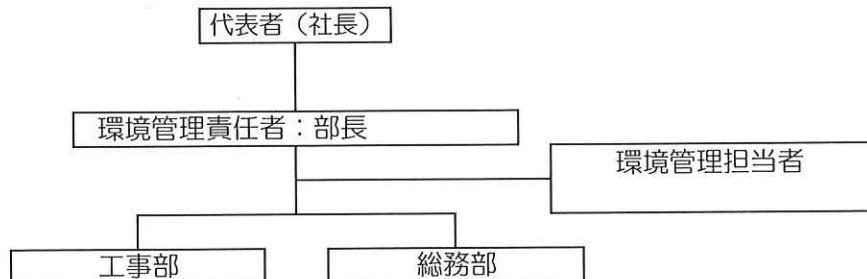
3. 対象範囲（認証・登録範囲（予定））

事業活動：電気工事業

対象事業所：本社

4. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none">①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる③環境経営目標、環境経営レポートを承認する④資源（人・もの・金）の用意をする⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する⑥環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる②上記の結果を社長に報告する③EA21文書類の承認をする④環境経営レポートの作成
環境管理担当者	<ul style="list-style-type: none">①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する②環境への負荷の自己チェックを実施する③環境への取組の自己チェックを実施する④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	<ul style="list-style-type: none">①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する④自部門の教育・訓練を実施する⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	<ul style="list-style-type: none">①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う

5. 環境経営方針

内田電工株式会社 環境経営方針

内田電工株式会社は、地域に根ざした地元企業として「地域社会への貢献」に沿って、地球環境問題と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

1. 当社は下記のとおり、事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに工事施工時に
おける環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等並びに地元との約束等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知し、社外へも公開します。

取組の重点分野

制定日：2023年5月1日
内田電工株式会社
代表取締役 内田 知洋

6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度 2022年度実績		2023年度目標		2024年度目標		2025年度目標	
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.351	7,398	kWh	-1%	7,324	-2%	7,250	-3%	7,176
		2,597	kg-CO ₂		2,571		2,545		2,519
2	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.32	3,090	ℓ	-1%	3,059	-2%	3,028	-3%	2,997
		7,168	kg-CO ₂		7,096		7,025		6,953
3	二酸化炭素排出量 の削減 ※2	9,765	kg-CO ₂	-1%	9,667	-2%	9,570	-3%	9,472
4	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	78.2 ※3	%		80	+1 (%)	81	+2 (%)	82
5	一般廃棄物排出量 の削減	109	kg	-3%	106	-4%	105	-5%	104
6	環境に配慮した施工の 推進	—	%	評価ポイント 90点以上(%)		評価ポイント 91点以上(%)		評価ポイント 92点以上(%)	

(注) 化学物質は使用していないため、目標に設定していない。

(注) 水道料金はビルの賃貸料金に含まれており、量水計がないため使用量は不明であるが、

水使用量削減の手順書を定め、これに従った取組みを行っている。

※1 電力の二酸化炭素排出係数 : 0.351 kg-CO₂/kWh (関西電力、2020年度の調整後排出係数)

※2 灯油の値は含まれていない。(使用していないため、目標に設定していない)

※3 産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(65.1t)÷発生量(83.3t)=78.2%

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全 期	春 期	夏 期	秋 期	冬 期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28°C、冬期:20°C)			○		○	総務課 担当者
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
		4.離席時のパソコン電源OFF	○					
2	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					総務課 担当者
		3.法定速度の順守 4.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
3	二酸化炭素排出量 の削減	・NO.1~2に従う						
4	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	1.建設廃棄物の分別徹底	○					工事部 部長
		2.不法投棄、不法処分リスクの無い処理業者への委託	○					
		3.保管基準の順守	○					
5	一般廃棄物排出量 の削減	1.リサイクルを意識した一般ごみの分別	○					総務課 担当者
		2.コピー紙の裏紙使用	○					
		3.詰め替え容器のある商品の選択	○					
6	環境に配慮した施工の 推進	1.苦情をなくす 2.不適合をなくす 3.連絡打合せ 4.ゴミの分別 5.工事現場の清掃						工事部 部長

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針 との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※3	環境経営計画の実績 (2023年5月～8月)		次年度の 環境経営計画
1	電力使用量の削減（本社） (CO ₂ 排出量削減)	・昼休みの消灯 ・空調設定温度の励行 ・部分消灯及びこまめな消灯	◎ ◎ ◎	単位 kg-CO ₂ 目標 770 実績 737	達成率 105 %	・外出時の こまめな消 灯
			△	達成状況 ※4 ○		・外出時のこま めな消灯
2	自動車燃料 使用量の削減 (ガソリン) (CO ₂ 排出量 削減)	・急発進の防止 ・アイドリングストップ ・相乗りの徹底 ・適正空気圧の確保	○ ○ △ △	単位 kg-CO ₂ 目標 2,584 実績 1,833 達成率 141 %	達成状況 ○	・エコドライ ブの意識 が浸透した
3	二酸化炭素 排出量の削減	No.1～No.2 に記載		単位 kg-CO ₂ 目標 3,354 実績 2,570 達成率 131 % 達成状況 ○		No.1～ No.2 に記 載
4	産業廃棄物 排出量の削減 ※1	・建設現場での分別強化 ・金属くずの分別ボックス新設	○ ○	単位 % 目標 80 実績 96.6 達成率 121 % 達成状況 ○		・分別の意 識が浸透し た
5	一般廃棄物 排出量の削減	・コピー用紙の裏紙使用 ・一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	◎ ○	単位 kg 目標 38 実績 39 達成率 97 % 達成状況 X		・コピー用 紙の裏紙使 用が徹底し た
6	環境に配慮した施 工の推進 ※2	・苦情をなくす ・不適合をなくす ・連絡打合せをきちんとする ・ゴミの分別をする ・工事現場の清掃をする	○ ○ △ ○ ○	単位 % 目標 95 実績 98 達成率 103 % 達成状況 ○		・コピー機に裏 紙専用トレイを 設ける
実施体制		・実施体制（環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者）は有効に機能しており、これを継続する				

※1 産業廃棄物のリサイクル率の向上(実績) ; 100×再生量(0.56t)÷発生量(0.58t) = 96.6%

※2 ポイント計算式 実績/総点数(44/45)=97.7% (98%)

※3 評価：◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※4 達成状況：○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

遵守評価者：福岡 愛 遵守評価日：2023年9月1日

適用される法令等	主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1 廃棄物処理法	処理業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
	マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
	廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
	マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
2 建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
	元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存	遵守
	都道府県知事への事前届出の提出（工事着手の7日前まで）	遵守
3 騒音規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
	特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと	遵守
4 振動規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
	特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと	遵守
5 労働安全衛生法 (石綿障害 予防規則)	作業場には、石綿等の使用の有無に関する調査終了日、調査方法、結果の概要を掲示	遵守
	石綿等の除去作業、封じ込め・囲い込みの作業等は事前に所轄労働基準監督署長に提出	遵守
	作業場所の隔離、ろ過集じん方式の集じん・排気装置の使用などの処置	遵守
	作業者以外の立入禁止とその表示	遵守
6 消防法	消火器の有効期限の点検	遵守
7 フロン排出 抑制法	空調機の簡易点検（3か月以内ごと）及び廃棄後3年間までの記録保存	遵守
	・廃棄時におけるフロン類の回収依頼書又は委託確認書の交付 ・回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した引取証明書の3年間保存	遵守
8 自治体との災害時 応援協定	災害発生時に応援派遣する	遵守

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生しておりません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2023年 9月 5日

代表者：内田 知洋

作成者：福岡 愛

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス、・二酸化炭素排出量削減、・廃棄物排出量削減、・水使用量削減、・製品・サービスの環境性能の向上	【環境経営目標達成状況】目標6件中6件達成 【評価】概ね目標は達成できた	環境経営目標及び環境経営計画は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
その他の環境経営システム	・環境負荷の大きな変化	なし	その他の環境経営システムは適切に運用・維持されており、変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	・法規制等の遵守状況	違反はない		
	・教育・訓練の実施	計画どおり実施した		
	・外部からの苦情や要望	なし		
	・実施及び運用の適切性	取組み状況に問題なし		
	・緊急事態への準備状況	令和5年8月20日訓練実施		
	・取組の確認並びに是正処置の状況	問題点はなかった		
	・環境経営レポートの作成と公表、活用状況	2022年度環境経営レポートは9月20日発行予定		
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
前回の代表者指示事項のフォローアップ	登録の為前回はなし			
代表者の指示事項	事業活動はもちろん、日常生活においても一人一人が環境問題に関心をもって環境活動に取り組んでいくこと			
代表者の総合評価	エコアクションに取り組むことによって、一つ一つの活動行動が環境問題と繋がっていることを意識できるように思われる。 次年度からは具体的な行動に移し、積極的に関わることを期待している。			